

問5 [例] What time will you have

問6 (ア) 3 (イ) 1 (ウ) 2

[全訳]

こんにちは、みなさん。ぼくはレンです。ぼくはこの学校でサッカー部に入っています。サッカーは世界中でプレーされている人気のスポーツです。いくつかの異なる種類のサッカーもプレーされていることをあなたがたは知っていますか。アンブティサッカーは、障がいを持った人のためのサッカーの一種です。それは、片脚だけの人や片手だけの人によってプレーされます。

ぼくのいとこのコウヘイはアンブティサッカーの選手です。彼は高校生のとき通常のサッカーをしていました。彼の夢は「ア-B プロ選手になることでした。しかし、17歳のとき、事故にあり、片脚を失いました。よい義足のおかげで、現在、彼の毎日の生活はそれほど困難ではありませんが、彼はサッカーをすることをあきらめなければならませんでした。それは、彼の人生で最もつらい時期でした。20歳のとき、再び彼の人生が変わりました。彼の医者が「ア-A 彼にアンブティサッカーを紹介したのです。彼はそれに興味を持ち、すぐにそれをプレーし始めました。それ以来、彼は熱心に練習しています。

アンブティサッカーのルールは通常のサッカーのルールと似ていますが、そのコートのサイズは、通常のサッカーのコートのサイズよりも小さいです。この資料を見てください。

資料

アンブティサッカーのルール

- ・アンブティサッカーは各チーム7人(フィールドプレーヤー6人、ゴールキーパー1人)のプレーヤーによってプレーされる。
- ・フィールドプレーヤーは両手があってもよいが、脚は片脚だけでなければならない。ゴールキーパーは両脚があってもよいが、手は片手だけでなければならない。
- ・試合はクラッチをつけ、義足はつけないで行う。
- ・通常のサッカーボールが使われる。

コウヘイは「ア-C 静岡の高校で働いています。彼とチームのほかのメンバーは、仕事のあとや週末にアンブティサッカーを練習します。ぼくはときどき彼らの練習や試合を見に行きます。彼らはぼくのサッカーチームのどのメンバーよりも上手にサッカーをします。ぼくはそれを見るときいつも驚き、わくわくします。ぼくは何回か彼らといっしょにプレーしたことがあります。クラッチをつけて走るのは、ぼくにはとても難しいです。彼ら

は、片脚や片手だけで上手にサッカーをすることができ、そのことはぼくを勇気づけます。

コウヘイは言いました。「片脚を失ったあと、ぼくは悪いことばかり考えていて、何もしたくなかった。でも、アンブティサッカーはぼくの考え方を変えたんだ。今では、ぼくは「片脚がなくてもまださまざまなことを楽しめる」と思っているよ。そしてアンブティサッカーをすることで、ぼくはたくさんの友達ができた。彼らの中には障がいを持っている人もいれば、障がいを持っていない人もいる。彼らはみな、ぼくを支えてくれて、ぼくの生活をより幸せにしてくれるんだ。今、ぼくは、スポーツをすることは障がいを持っている人と障がいを持っていない人の両方にとって楽しいということを示したいと思っているよ」。

今日、科学技術のおかげで、さまざまな障がいを持ったたくさんの人が生活を楽しむことができ、コウヘイのようにスポーツをすることさえ楽しむことができます。2021年に東京でパラリンピック大会が開かれ、日本のたくさんの人々がそれを見て本当に楽しみました。パラリンピックのスポーツは以前より人気になりました。しかし、ぼくは、数年後に人々はそのことを忘れるかもしれないと不安です。

実際、ぼくは2021年9月と2022年9月の2回、パラリンピックのスポーツへの関心についてこの学校の生徒にたずねました。このグラフは彼らの回答を示しています。

このグラフから、東京パラリンピック大会の1年後に、何人かの生徒がパラリンピックのスポーツへの関心を失ったことがわかります。何かが自分から遠ざかってしまっていると、人はそのことへの興味を失うのだとぼくは思います。ぼくは、人々がパラリンピックのスポーツを見たりプレーしたりするための、より多くの機会を持てたらよいと思います。ぼくはまた、アンブティサッカーのように、パラリンピック大会で行われていないスポーツについて人々がもっと知ったらよいとも思います。それらはまだあまり人気がありませんが、パラリンピックのスポーツと同じくらいわくわくするものです。

今、ぼくに考えがあります。障がいを持つ人のスポーツチームの中には、イベントを開催するチームがあります。障がいを持つ人と障がいを持っていない人の両方がそうしたスポーツについて学び、いっしょにそれらをして楽しむことができます。1つに参加してみてもいいですか。きっと気に入ると思います。